

科 目 名		学年	単位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位
法学:Law		4ME	2	100分×30回	必修	講義・通年	○
教 員 名	吉川 信将.: YOSHIKAWA Nobumasa						
授 業 概 要	本講義では、我々の日常生活から社会生活にわたる幅広い場面で生じる法的な事柄について、わかりやすく解説する予定である。本講義を通して、法律学の基礎的な考え方を身につけられるよう、授業では時事的かつ具体的なケースを随時取り上げる。						
到達目標				評価方法			
(1)法律学の基礎的な考え方を理解する。 (2)時事的な問題の法的側面を理解する。				定期試験70%、まとめ問題(レポートを含む)30%として、総合評価する。			
学習・教育目標		(F)③④		JABEE基準1(1)		(a)	
授 業 計 画	回	項 目	内 容	回	項 目	内 容	
	第1	オリエンテーション	シラバスの説明と法学の勉強の仕方について	第16	企業と法	企業とは何か	
	第2	日常生活と契約	契約と人間関係	第17	企業と法	企業活動と法	
	第3	日常生活と契約	不動産取引と住まいの法律知識	第18	企業と法	企業再編(M&Aを中心として)	
	第4	日常生活と契約	お金の取引	第19	企業と法	企業不祥事	
	第5	日常生活と契約アクシデント	交通事故	第20	紛争の解決	紛争と法	
	第6	日常生活と契約アクシデント	医療事故	第21	紛争の解決	裁判の仕組み	
	第7	中間まとめ	前期のまとめとして試験を実施する。	第22	紛争の解決	各種の紛争解決法	
	第8	日常生活と契約アクシデント	欠陥商品による被害	第23	中間まとめ	後期の中間まとめとして試験を実施する。	
	第9	日常生活と契約アクシデント	悪徳商法による被害①	第24	法学フラッシュ	一般法と特別法、判例法	
	第10	日常生活と契約アクシデント	悪徳商法による被害②	第25	法学フラッシュ	憲法と私たちの生活	
	第11	雇用社会のルール	労働法との出会い	第26	法学フラッシュ	プライバシー権、個人情報の保護	
	第12	雇用社会のルール	企業社会と労働者	第27	法学フラッシュ	男女の平等、生存権の保障	
	第13	家族と法	婚姻	第28	法学フラッシュ	裁判を受ける権利、外国人と人権	
	第14	家族と法	家族	第29	法学フラッシュ	IT社会と法	
第15	まとめ	前期のまとめを行う。	第30	まとめ	全体の学習事項のまとめと授業評価アンケートを行う。		
自学自習の内容	六法全書に目を通すこと。						
関連科目	現代社会						
教科書	池田真朗・犬伏由子他『法の世界へ 第4版補訂』(有斐閣)、石川明ほか『法学六法 2011年度版』(信山社)						
参考書							
授業評価・理解度	最終回に授業評価アンケートを行う。						
副担当教員	山下 祐志						
備考							